

# 救急隊の

## 新型コロナウイルスに 対する感染防止対策

救急隊の新型コロナウイルスに対する感染防止対策は、通常の救急出動時とは異なる対応をしています。

救急隊員の装備としては、感染防止衣、ゴーグル、マスクを着用しています。新型コロナウイルスの感染が疑われる方を搬送する際には、感染防止衣「タイベック」は繊維が非常に細かく編み込まれ、肌の露出がない全身を覆う構造の物を、ゴーグルは眼鏡タイプよりも隙間のない物を、マスクは「N95」という空気感染にも対応した物を使用しています。

救急車の車内には、分厚いビニールで患者をストレッチャーごと覆うことができる「アイソレーションフード」を設置し、ウイルスの拡散防止に努めています。既製品のアイソレーションフードは、品薄の関係から入荷が見込めないため、ビニールシートを購入し職員が製作しています。このことからアイソレーションフードの在庫も確保できており、新型コロナウイルスに対する出動体制を維持しています。

また、救急車により患者搬送後には救急車内をアルコールによる清拭をし、さらに帰署後には、オゾン発生装置によりウイルスや菌を不活性化しています。

救急隊員が感染源となることを防止し、住民の皆様が安心して救急車を利用することができるようにするためのものです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### アイソレーションフード



職員で製作しています。



ゴーグル、N95マスク



感染防止衣  
「タイベック」



救急車に  
設置した様子